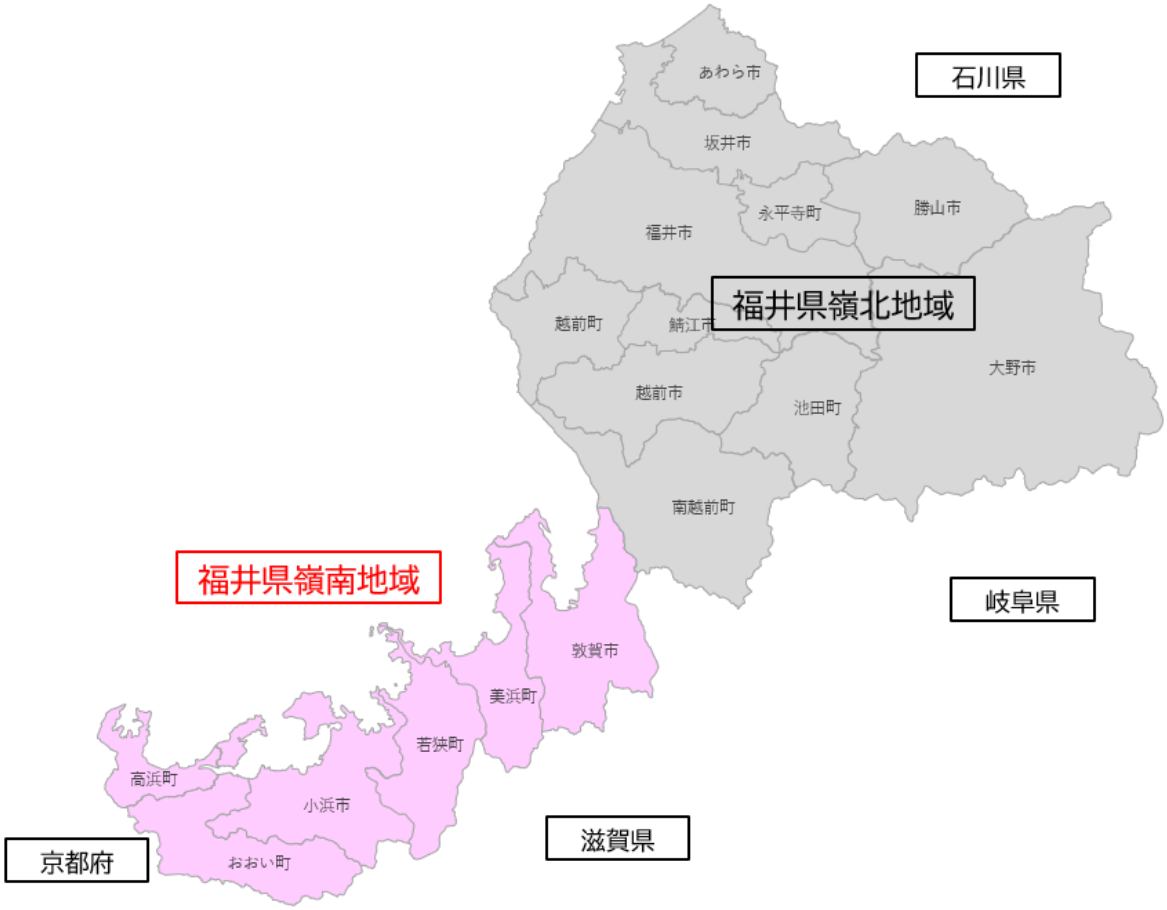
つるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーター募集要項

1　はじめに

福井県では、県南部の嶺南地域で地域資源とクリエイティブ人材（アーティスト・デザイナー・美大生など）をかけ合わせた地域づくりを進めるための計画策定を行っており、次年度から、「つるが・わかさ国際アートプロジェクト（仮）」として、本格的に事業をスタートする予定です。




(1)プロジェクトの背景、目的について

福井県嶺南地域（敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町）は、若狭湾のリアス式海岸や豊かな山々などの美しい自然景観に加え、古くから大陸の玄関口として京都や奈良との強い結びつきが形成されてきました。そうした自然、歴史に紐づいた伝統的な祭りや工芸、寺社仏閣、食文化等の地域資源は現在まで引き継がれているものの、人口減少・高齢化等により、国・県指定無形民俗文化財の約3割が休止・縮小しているなど、維持が難しい現状です。

また、令和6年春に北陸新幹線が敦賀まで延伸し、福井県内全体の観光入込客数が増加しているものの、敦賀市が25%増加していることに比べ、美浜町以西のエリアは7%の増加にとどまるなど、新幹線効果を嶺南地域全体に拡大する必要があります。

こうした現状をふまえ、本プロジェクトでは、アーティストなどのクリエイティブな外部人材の新しい視点により、嶺南の地域資源を深掘りし、芸術作品制作・展示・地域交流イベント等を通

じてその価値や魅力を発信し、若者・女性・外国人などの新たな層の交流人口や、地域に継続的に関わる関係人口の増加を図っていきます。

また、外部人材の活動に地域の住民や企業が関わることにより、人々が身近にある地域資源の歴史的価値や背景を見つめ直すきっかけを作り、地域への愛着や誇りを育てていきます。

さらに、こうした活動に若い世代が関与できる機会を積極的に設けることにより、まちづくりの担い手などの将来にわたって活躍する地域人材を育成するとともに、嶺南地域の文化・観光・産業が持続的に循環・発展し、国内外から人が集まる「世界があこがれる福井」を目指していきます。

(2)プロジェクトのテーマ　※現在検討中

「育ち」（仮）

(3)R8 年度の現状

R8 年度は、プロジェクトの全体計画を策定しています。

・嶺南6市町と福井県による計画策定会議、担当者会議の開催

・地域資源を掘り起こすための「つるが・わかさのお宝発見ワークショップ」（地域住民対象）の開催

・シンポジウムの開催

★年度内に計画を決定し、R9 年3月には、公表予定です。

(4)今後5年間の見通し

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | 計画策定 |
| 令和9年度 | 事業開始 |
| 令和10年度 | 事業継続 |
| 令和11年度 | 事業継続 |
| 令和12年度 | 事業継続 |
| 令和13年度 | 最終年度・記念イベント |

(5)プロジェクト実施体制

○R8 年度

【事業計画策定会議メンバー】

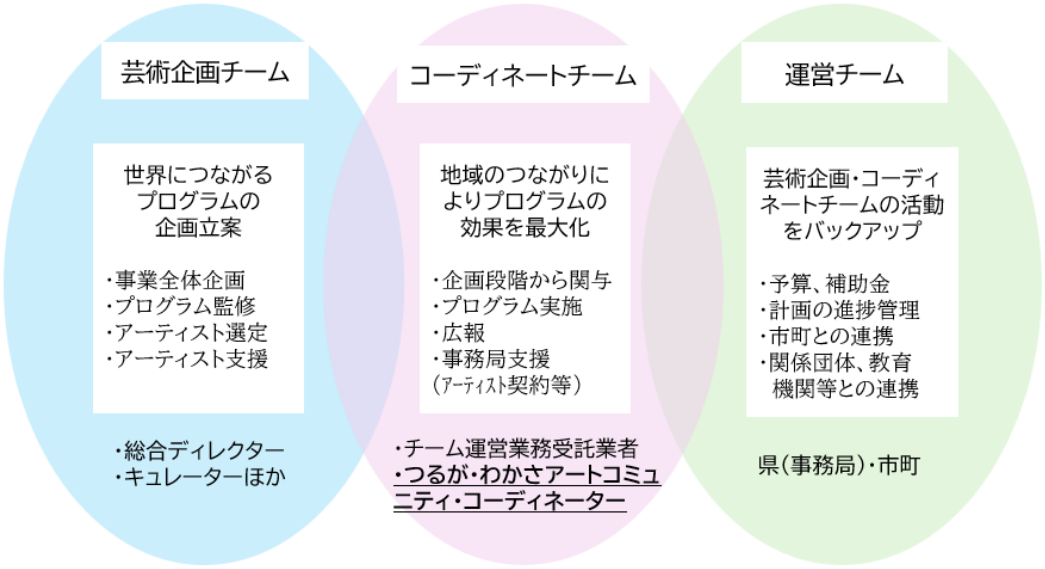
・福井県、敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町

・総合ディレクター：片岡　真実（株式会社　片岡美術室　代表取締役）

【計画策定補助業務受託業者（ワークショップ、シンポジウム運営等）】

・株式会社ジャクエツ

○R9 年度以降（仮）




(6)R9 年度以降に想定される具体的なプロジェクト実施内容

・芸術作品の制作、設置
・若手アーティストによる滞在制作
・学生アートキャンプ
・中高生、県内大学生によるチーム「わかさ美術部」（仮）による活動プログラム
・地域交流イベント

※最新のプロジェクト概要、本年度の実施状況については、下記の福井県ホームページでご確認ください。
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/bunshin/reinanmiryokuproject.html

2　つるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーター―の活動内容

(1)つるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーター―とは

「つるが・わかさ国際アートプロジェクト（仮）」を進めるにあたり、地域住民とアーティストなどのクリエイティブな外部人材が交流し、関係性を深めながら、地域の価値や課題を見つめ、共に活動していくことが不可欠となります。また、本プロジェクトでは、県内の中高生や大学生によるチーム「わかさ美術部」（仮）を立上げ、子どもたちと一緒に地域資源とアートを生かしたプログラムを考えていきます。さらに、県外美大生と県内学生が協働で地域をリサーチし、地域資源の価値を見つめ直し、作品等で発信する「学生アートキャンプ」を実施し、「わかさ美術部」（仮）もキャンプに参加することを想定しています。

そのため、「コーディネートチーム」の一員として、チーム運営業務受託業者と協力・連携しながら「わかさ美術部」（仮）の立上げや運営サポートのほか、「学生アートキャンプ」の活動サポート、「わかさ美術部」（仮）と地域住民・クリエイティブ人材をつなぎ、調整する地域おこし協力隊

を募集します。

（2）具体的な活動

①「わかさ美術部」（仮）の立ち上げ・運営サポート

本プロジェクトでは、地域資源とアートを生かしたプログラムを行う中高生や大学生のチーム「わかさ美術部」（仮）を作ります。つるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーター―には、チームの立ち上げや運営のサポートをメイン業務として実施していただきます。

※プログラムの監修・ファシリテートは総合ディレクターが担当します。また、チーム立上げ、運営業務は、県およびコーディネートチーム運営業務受託業者が主担当です。

〇想定される業務

★「わかさ美術部」（仮）の立ち上げ

・県内の中学校、高校、大学を訪問し、プロジェクトの趣旨説明等の PR 活動を行う。

・各学校との調整を行い、メンバーを募集する。

★「わかさ美術部」（仮）メンバーの関係性作り

・「わかさ美術部」（仮）に参加する中高生や大学生の関係性を築くために、交流イベント等の企画・運営をサポートする。

★チーム会議の運営サポート

・年数回開催予定のチーム会議において、メンバーの発言・活動が活発化するようにサポートする。

②学生アートキャンプの活動サポート

本プロジェクトで実施を想定している、県外美大生と県内学生が協働で地域をリサーチし、地域資源の価値を見つめ直し、作品等で発信する学生アートキャンプには、「わかさ美術部」（仮）も参加します。つるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーター―には、アートキャンプに参加する学生と「わかさ美術部」（仮）の活動をサポートしていただきます。

〇想定される業務

★アートキャンプ参加学生と「わかさ美術部」（仮）とをつなぐ

・アートキャンプに参加する学生と「わかさ美術部」（仮）とが協働できるように調整する。

★アートキャンプ活動サポート

・アートキャンプにおいて、参加学生と「わかさ美術部」（仮）が関係性を築けるような手立てを考え、サポートする。

・参加学生と「わかさ美術部」（仮）のリサーチ・制作活動、宿泊等に引率し、サポートする。

③地域とクリエイティブ人材や「わかさ美術部」（仮）をつなぐコミュニティづくり

滞在制作およびアートキャンプで訪れるアーティストや学生のリサーチ、制作活動、「わか

さ美術部」（仮）の主な活動をすすめるために地域住民・企業などの協力者を発掘し、調整を行っていただきます。

〇想定される業務

★地域での協力者の発掘・調整

・アーティストや美大生、「わかさ美術部」（仮）の活動に協力してくださる地域住民、企業などを発掘し、つなぐ。

★地域交流イベントの企画・運営サポート

・地域での協力者を増やすための交流イベントやチームと協力者との関係性を築くための交流イベントを企画し、運営をサポートする。

・必要に応じて、自治体・学校との連携調整を行う。

④その他

プロジェクトのボランティア組織の立上げ・運営サポートやプロジェクトの広報・プロモーション

本プロジェクト内で実施する様々なプログラムにおいて、ボランティアを募集することを予定しています。また、コーディネートチーム運営業務受託者が運営する SNS やホームページ上で、プロジェクトの各プログラムやイベント等を周知・広報する予定です。つるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーターには、ボランティア組織の立上げ・運営のサポート（ボランティア募集 PR、ボランティアとの連絡・調整）や、プロジェクトの周知・広報用の記事作成、写真・動画撮影等を行っていただくことも想定しています。

（3）目指す成果

隊員には、以下の目標達成を目指し、活動いただきます。

〇任期終了時の目指す姿

・地域の若者や学生が継続的にプロジェクトに参画する仕組みが構築されている

・地域資源やアートを生かした自主的なプロジェクトが複数立ち上がっている

・地域住民・企業と外部人材・わかさ美術部（仮）の協働体制が形成されている

3　活動イメージ

〇1年目（知る、見つける、つながる）

①「わかさ美術部」（仮）の立ち上げ・運営サポート

②クリエイティブ人材や「わかさ美術部」（仮）と、地域をつなぐ仲間づくり

③ボランティア運営体制づくり

④熊川宿若狭芸術祭（若狭町で行われているアートイベント）でのアーティスト交流企画の立案・実施

⑤広報・プロモーション

※1 年目終了時には、

・「わかさ美術部」（仮）が活動を始めており、隊員の働きかけにより、美術部のメンバーの関係性が築けている。

・隊員が地域の協力者を発掘し、本プロジェクトを支えるコミュニティとしてつながりが生まれている。

・2 年目以降のプログラムの広がりに備え、ボランティアの体制・仕組みが整っている。

・熊川宿若狭芸術祭でアーティスト交流企画を担当した経験を活かし、2 年目以降に本プロジェクト内で実施する地域交流イベントのアイディアが生まれている。

〇2～3年目（ひろげる、ふかめる、根付かせる）

①「わかさ美術部」（仮）の運営サポート

②クリエイティブ人材や「わかさ美術部」（仮）と、地域をつなぐコミュニティづくり

③②でできたコミュニティとのプロジェクトづくり

④ボランティア運営サポート

⑤広報・プロモーション

※3 年目終了時には、

・「わかさ美術部」（仮）が自分たちで新たなプロジェクトを企画・運営するなど自主的な活動が複数生まれている。卒業した学生も、サポート等で関わっている。隊員の働きかけにより、それらのプロジェクトへ美術部に所属しない地元の中高生や地元住民もかかわっている。

・隊員がつなげてきた「アートなかま」が、積極的に「わかさ美術部」（仮）やアーティストの活動にかかわり、地域の魅力を共有している。

・ボランティアがプロジェクト内の様々な場面で活動している。

・プロジェクト内の各プログラムで様々な地域交流イベントが開催されている。

〇活動終了後

・ご縁の深まった企業、団体等に就職するという道が考えられます。

・なお、就職や起業については、県もバックアップをさせていただきます。

4　留意事項

現在構想段階であり、プロジェクトの内容、隊員の業務内容については、流動的です。今後、計画を立てる中で変更の可能性がございます。ご了承ください。

5　募集人数

　2名

※採用後にそれぞれの担当業務や担当エリアを決定します。また、必ずしも募集人数どおりの人数を採用しない場合もあります。

6　応募資格

(1)総務省『地域おこし協力隊推進要綱』の第3(1)④に規定されている地域要件を満たすことができる者で、採用後、生活拠点を福井県嶺南地域(敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町のいずれかの市町)に移し、住民票を異動できる者。

　※要件に該当するか不明な場合は、個別にお問い合わせください。

(2)令和8年4月1日時点で満18歳以上の方

(3)基本的なパソコン操作(ワード、エクセル、パワーポイント、Web会議等)ができ、かつ、インターネット(ホームページや SNS)を利用した情報発信ができる方

(4)土日祝日や夜間に打合せを含めた現場対応ができること

(5)普通自動車免許を有する方または活動開始までに取得予定の方

(6)地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方

7　求める人物像

以下の項目に沿う方をつるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーター―として募ります。応募の際は、以下の項目にご留意の上、「つるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーター―応募用紙」をご記入ください。なお、以下の項目すべてを満たす必要はありません。

(1)必須スキル

①文化芸術に関する事業の運営に関心があり、地域課題の解決や地域活性化に取り組む意欲のある方

②フットワークが軽く、新たな出会いに臆することなく地域に飛び込める方

③地域住民の思いや考えに耳を傾け、コミュニケーションを重ねながら信頼関係を築くことができる方

④地域住民やアーティスト、子どもから高齢者まで、属性にかかわらず、多様な価値観をもつ方々と円滑なコミュニケーションがとれる方。特に子どもとコミュニケーションをとることが好きな方

⑤もう 1 名の隊員やプロジェクト関係者と情報共有・相談を行い、互いの考えや強みを尊重しながら協力して活動を進めることができる方

⑥計画通りに実施されないことがあっても、臨機応変に対応できる柔軟性のある方

（2）活動に有効と思われるスキル

①国際芸術祭等のアートイベントの運営スタッフ経験、作品制作のサポート経験

②SNS 運用、プレスリリース執筆、Web サイト作成、写真・動画撮影および編集スキル

③ワークショップ等の企画・運営経験

④まちづくりに関わる活動経験

⑤学生が参加するイベント等の運営経験

⑥ボランティア運営スタッフ経験

（3）福井県地域おこし協力隊に共通して求められる人物像

①自立自走でき、かつチームプレイも取り組める方

②人の話を聞き、円滑にコミュニケーションを取れる方

③好奇心を持ち、楽しみながら前向きに仕事ができる方

8　身分および委嘱期間

（1）身分

つるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーター」として、福井県知事が委嘱します（福井県との雇用関係はありません）。

（2）委嘱期間

委嘱日から令和9年3月31日まで

※委嘱の開始日については、内定者と協議の上決定します。

※所定の審査を経て、最初の委託日から通算して3年まで延長することができます。

※隊員としてふさわしくないと判断した場合は、委嘱期間中であっても業務委託契約を解除できることとします。

9　待遇等

（1）活動日数

年間の活動日数は 192 日（目安として月16日を12か月）を上限とし、初年度は採用日から年度末までの日数に応じて調整します。

（2）活動時間

1日の活動時間は概ね8時間を基本とします。ただし、活動内容により時間等を調整できるものとします。

(3)報酬・活動経費

| | |
|---|---|
| 報酬 | 月 291,600 円（月 16 日活動の場合）<br>※毎月の活動状況を確認の上支給します。 |
| 活動経費 | 活動に必要な経費等は予算の範囲内で県から支給します。<br>【活動経費として対象となるもの（例）】<br>・委嘱期間中の住居に係る家賃（上限月 28,000 円）<br>・事業に係る自動車の燃料費、リース費（リース費は上限あり）<br>・作業道具、書籍、消耗品等に要する経費<br>・事業に係る損害保険・賠償責任保険料<br>（ただし、国民健康保険料や国民年金保険料等は自己負担）<br>・研修等に要する経費<br>【活動経費として対象とならないもの（例）】<br>・事業収入を伴う経費<br>・土地、建物の購入費<br>・高額な物品（備品）購入費<br>・その他個人の資産となる経費 |

(4)勤務地

福井県庁に席は設置しませんので、ご自宅等を拠点に業務を行っていただきます。

福井県嶺南全域（敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町）をフィールドとして活動していただきますが、月１～２回程度は、県庁において対面で打合せ等を行う予定です。

※文化課執務室内のフリースペースを使うことも可能です。

※活動期間の中で、運営事務局の拠点が嶺南地域に開設される可能性もあります。その場合は、別途お知らせさせていただきます。

(5)副業・兼業

つるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーター―の業務に支障がない範囲で副業・兼業が可能です。

既に副業されている方、会社経営をされている方も歓迎いたします。

(6)その他

①雇用保険には加入しません。健康保険、年金保険等はご自身でご加入ください。

②業務活動以外の経費（引越しや生活用品、住居の光熱水費等）は自己負担になります。

10　応募方法

(1)受付期間

令和8年10月 30 日(金)～令和8年12月14日(月)【必着】

(2)提出書類

次の書類をメールまたは郵送によりご提出ください。なお、提出された書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。メール:bunka@pref.fukui.lg.jp

①つるが・わかさアートコミュニティ・コーディネーター―応募用紙

②履歴書

③住民票の写し(発行日から 3 か月以内のもの)

④運転免許証の写し

(3)郵送の場合の提出先

〒910-8580　福井県福井市大手3丁目 17-1

福井県 交流文化部 文化・スポーツ局 文化課 文化振興グループ

TEL:0776-20-0580

※応募にあたって、事前に募集内容の確認等を行いたい場合は、お気軽に上記までお問い合わせください。電話、メール、オンライン面談等でご対応いたします。

11　選考方法

(1)第1次選考(書類審査)

・提出書類をもとに書類審査を行います。

・選考結果は、令和8年12月18日(金)までに応募者全員へメールまたは文書で通知します。合格者には、併せて第2次選考の日程等詳細をお知らせします。

(2)第2次選考(面接審査)

・第1次選考合格者を対象に、令和9年1月上旬ごろに福井県庁(福井県福井市)にて面接を行います。

・選考結果は、令和9年1月13日(水)までに第2次選考参加者全員にメールまたは文書で通知します。

※応募に係る経費(郵送費、交通費等)は応募者の自己負担となります。

ただし、来県のための交通費については、移住に係る交通費支援制度を活用いただくなど、可能な範囲で経費の一部を支援させていただきます。

※選考の経過および結果についての問合せには応じられません。

12　お問い合わせ先

(1)本件募集企画に関すること

福井県　交流文化部　文化・スポーツ局　文化課　文化振興グループ
〒910-8580　福井県福井市大手3丁目 17-1
TEL：0776-20-0580
メール：bunka@pref.fukui.lg.jp

(2)福井県地域おこし協力隊全般に関すること

福井県　未来創造部　定住促進課　移住定住グループ
〒910-8580　福井県福井市大手 3 丁目 17-1
TEL：0776-20-0387
メール：teiju@pref.fukui.lg.jp